

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	こどもサポート教室「クラ・ゼミ」札幌菊水校		
○保護者評価実施期間	2024年11月21日		～ 2024年12月21日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	52	(回答者数) 42
○従業者評価実施期間	2024年11月21日		～ 2024年12月21日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数) 7
○事業者向け自己評価表作成日	2024年1月6日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	家族支援及び移行支援の視点を持ち、支援にあたっている。	<ul style="list-style-type: none"> ・児童の様子について、利用時にご家族が来所される場合には個別でフィードバックを行い、家族支援面談の形で利用日以外にもお話しできる機会の提案・対応を行っている。 ・ご家族からの聞き取りや関係機関との情報共有の機会を設ける事で、事業所外での児童の様子の把握に努め、支援や相談援助に活かしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ご家族の意向を踏まえた上で、事業所内での取り組みだけではなく、ご家庭における取り組みの工夫を伝える場面として支援時の観察や参加を推進したり、保護者様同士が交流できる機会を設けたりすることで、ペアレント・トレーニングの充実を図っていく。
2	職員間の情報共有や連携に気を付けている。	<ul style="list-style-type: none"> ・勤務が日曜日以外はシフト制である為、職員同士が情報共有を行いやすいよう、共有フォルダやスプレッドシートの中でリアルタイムで得た情報を共有できるようにしている。 ・毎日朝礼を行う中で、事業所運営に関する事やその日の職員の動き、前日や前回利用時の児童の情報などを共有している。 ・行なった支援について職員同士引継ぎを行っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・経験の長さにより、職員間で行える支援やその他業務の深さや幅が違う為、すべての職員が段階を追いながら色々な経験することで、どの職員でも対応できる事業所運営を引き続き推進していく。
3	研修や相談の機会が設けられている。	<ul style="list-style-type: none"> ・義務化に関する研修や、職員の階層に合わせた研修を受ける機会が確保されており、日頃の業務や支援の中での困りごとを聞き取り、研修や座談会などの形で行っている。 ・面談の機会が確保されており、入職後のすぐのタイミングにおいてはこまめに面談を実施、困り感の聞き取りを行っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・職員向けに行われている研修や訓練など、ご家族や児童に共有できる機会を設けていく。(通信やブログでの発信、LINEなどでの共有、事業所内での掲示など)

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	ペアレント・トレーニングの機会が限定されている。	<ul style="list-style-type: none"> ・支援時の見学や観察についてご家族へお声掛けし、お時間が折り合うご家族については児童への声掛けや関わりの工夫をお伝えできているが、お時間の都合が難しいご家族へご提案できているものが少ない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・できるだけ早い段階で事前にご案内する事で、ご家族が予定を立てやすいようにしていく。 ・どうしても来所する時間が取れないご家族へ向けて、情報が得やすい形での発信を行っていく。(通信やブログでの発信、LINEなどでの共有、事業所内での掲示など)
2	研修や訓練などが行われている事が認識されていない部分がある。	<ul style="list-style-type: none"> ・訓練については参加児童のご家族へはお伝えし、実施後ブログで発信をしているが、該当日ではない方に対して周知が不十分である。 ・職員向けに行われた研修は、職員内での共有に留まっている事が多い。 	<ul style="list-style-type: none"> ・職員向けに行われている研修や訓練など、ご家族や児童に共有できる機会を設けていく。(通信やブログでの発信、LINEなどでの共有、事業所内での掲示など)
3	ご家族にとってわかりやすい説明や書類内容への改善の余地がある。	<ul style="list-style-type: none"> ・5領域を意識したアセスメントシートや計画書について、ご家族の理解や職員の認識・説明の仕方に差異がでないよう、わかりやすくする必要があるのである。 	<ul style="list-style-type: none"> ・項目の意味について補足できる文書を用意し、ご家族が読んだ際にイメージしやすいよう具体例なども添えていく。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 子どもサポート教室『クラ・ゼミ』札幌菊水校

公表日 2025年 2月 15日

利用児童数

52

回収数

42

	チェック項目					ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	35	7	0	0	・個別で十分確保されている。	
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	37	4	0	1	・配置数がよくわからない。	・事業所内に職員の顔写真を掲示しておりますが、契約時にご紹介させて頂くとともに、来所が難しいご家族へもわかるよう、通信やLINEなどを活用し、ご案内させて頂きます。
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	33	6	0	3	・階段で上がるのでバリアフリーともいえない。施設内は問題ない。	・事業所内部は完全バリアフリー、子どもが入れる場所・触れる物の取り決めを行っております。階段の昇降が難しい場合は個別に相談し対応します。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	39	2	0	0	・秋冬の空気の乾燥が気になる。	・加湿器・タオルを干すなど対応は以前よりしてまいりました。今回のご意見を基に加湿器を増やせるよう検討します。
適切 な 支 援 の 提 供	5 子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	40	0	0	2	・学校で進みが遅れていることを上手くサポートしていただけている。	
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	38	2	0	2	・時々行事があり、息抜きとなっている。	・季節感や文化を学んだり、小集団での協調性・個人の巧緻性を育めるよう内容を考えてイベントを行なっています。
	7 子どものことを十分理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	40	0	0	2	・学習意欲、漢字などを覚えたい意欲をうまく引き出してくれている。	ニーズや課題を保護者様・本人様と共通認識を持って行えるよう、家族支援（面談）や子育てサポート支援（支援への参観）を勧めしております。
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	42	0	0	0		
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	40	0	0	2		
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	37	2	0	2		
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会がありますか。	6	4	16	16	・必要ない。 ・療育時間との兼ね合いもあり厳しい気がする。	・個別支援を主とするサービスであることは体験・契約時にご説明させていただいておりますが、関係機関への聞き取りも進め、ニーズに応じて対応を検討して参ります。
保 護 者 へ の 説 明 等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	39	1	0	1		
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	40	1	0	1		
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	15	6	8	12		
	15 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	36	3	0	2	・毎回支援内容のお話を聞いている。 ・お迎えの際に毎回共有できている。	・支援後のフィードバック以外にも、家族支援（面談）や子育てサポート支援（支援への参観）も随時行っております。こちらからお誘いさせていただくこともありますが、保護者様からのお声掛けも是非お待ちしております。
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	34	3	2	2	・入ったばかりなのでまだ面談はないが、都度報告を頂いている。 ・お迎えの際に毎回共有できている。	
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	39	1	0	2		
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	9	4	15	14	・必要ない。 ・保護者同士の交流はないのであれば心強い。 ・保護者会の開催は難しいのかもしれないが、外部でもいいので、こんな保護者会がある、などの情報があれば共有していただきたい。 ・学校ではなかなか知る機会がない。	・再度ニーズを把握し、検討致します。きょうだい児のイベント参加、支援体験も随時受け付けております。今後もさらに周知して参ります。

	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	33	3	1	5		
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	39	1	0	2	・お迎えの際にお話しており、話もしやすいと思う。	・お話時間を確保できるよう、いつもお迎えのご協力をありがとうございます。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	27	9	0	6	・クラゼミ通信が楽しみ。	・従来の書面での配布は停止しておりますが、プログラムの更新は月々行っております。また今年度はLINEを始めたことで連絡の取りやすさを改善しました。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	35	1	0	6		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	19	6	0	17	・文書や口頭にて教えていただいている。	・体験・契約時に書面にてお渡ししている他、職員研修にて訓練を実施しております。周知について改めて検討します。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	8	6	1	27	・避難訓練の経験がない。 ・参加したことがないので子供だけでも半年に1回くらい参加できると良い。	・今年度は6月に火災、10月に不審者の訓練を行いプログラムで発信させて頂いております。周知の方法について再度検討して参ります。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	26	4	0	11		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	22	7	1	13	・まだ緊急事態がないが、対応してくれると思う。	・体験・契約時に避難先等の情報を書面にてお伝えしていると共に、契約時の書面にて説明を行っておりますが、事故が発生した際の対応フローについて、事業所内のわかりやすいところへの掲示を行って参ります。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	41	1	0	0		
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	27	12	3	0	・ゲームばかりしたい子なので嫌がるようになってしまった。 ・勉強は苦手ですが少しずつ理解できる楽しみ、勉強後の遊びや行事が楽しみ。	・ご家族のニーズやお子さんの課題に合わせてプログラム内容を調整しておりますが、今後も情報共有させて頂きながら対応して参ります。
	29	事業所の支援に満足していますか。	41	1	0	0	・内容自体はとても良いが欲を言えば2時間くらい取れると嬉しい。	・今後もご期待・ご要望に丁寧に対応し、ご満足いただけるよう努力して参ります。お気づきの点がございましたらいつでもご相談ください。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		こどもサポート教室「クラ・ゼミ」札幌菊水校			公表日	2025年 2月 15日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6	1	・フリースペースを使うなど、臨機応変に対応できている。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	7		・法令を遵守した配置数を確保している。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	1	6	・療育室に関してはバリアフリーになっている。 ・待機できる空間に椅子を設置している。 ・個別の支援室と小集団で遊べる空間を作っている。	・事業所がビルの2階テナントで、階段のみの為バリアフリーではない。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	7		・清掃、消毒、整頓に努めている。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	7		・療育室は全て個室になっている。 ・その時間使用していない個室をカムダウンエリアとして使用することがある。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	7		・定期的にミーティングを行い、目標設定や振り返りを行っている。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7		・保護者様の意見を踏まえ改善に努めている。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7		・個人面談や交流会などが定期的実施されている。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		7	・利用者様及び事業所内評価は行っているが、第三者による外部評価は行っていない。 ・社内の内部監査の評価を元に業務改善に繋げている。	・社内の定期的な内部監査により引き続き法令遵守を徹底する。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	7		・社内研修が定期的に行われている。 ・月に1度の研修に参加し、資質向上を図っている。	
適切な支	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	7		・作成中。	・本年度中に公表予定。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	7		・ニーズに合わせて作成されている。 ・年度初めにアセスメントシートを元にニーズや課題の聞き取りを行っている。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7			
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	7			
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6	1		・既存のアセスメントシートで項目の解釈がわかりづらい点について、聞き取る際にばらつきがでる可能性がある為、聞き取りや記載の際に工夫が必要である。
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	7		・設定されている。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5	2	・職員間で話し合いを行っている。 ・担当時は個人で立案しているが、困ったときに相談できる環境はある。	・個別支援を基本としている為、支援プログラムの準備自体は担当指導員が独自に用意している。 ・イベントなど集団で行う活動はイベント担当が計画し、職員全員で準備、実行している。

援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7		・多様なプログラムになるよう工夫している。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	6	1	・個別支援がメインとなっているが、製作や運動などで集団で活動する時間も適宜確保している。	・今後も児童の課題に合わせた計画作成と、それに基づいた支援を継続していく。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	7		・朝礼時に支援ミーティングを行い、前回の支援の内容・利用者の様子について共有し、共通理解を持つようしている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5	2	・退勤時間を考慮し、翌日の朝礼で行っている。 ・特記事項については、スプレッドシートで共有している。	・急ぎの特記事項はできるだけリアルタイムでスプレッドシートにて共有し、当日や翌日が休みの職員にも伝わるよう、対応を継続していく。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7		・特記事項については、スプレッドシートで共有している。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7		・6か月毎に計画書の見直しを行っている。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	7			
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	7			
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	4	3	・児発管や担当指導員を中心に参加、全職員に内容を共有している。 ・相談支援事業所がついている児童自体が少ない。	・経験を積み重ねていく中でできるだけ色々な職員が参画していけるよう、対応を継続する。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	7			・訪問や電話での共有など継続していく。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	6	1	・必要に応じて学校と連絡調整を行っている。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定子ども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	1	6	・必要に応じて学校と連絡調整を行っている。	・送迎時や電話、訪問などで連携を図っていく。 ・保護者様から依頼があった場合には利用していた施設に連絡することができる様体制を整えていく。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	2	5	・該当する児童がいなかった。	・移行先が決まっている場合には情報提供している。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	2	5		・連携を図り、助言を得る機会を作っていく。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。		7		・引き続き周知活動を行う中で地域のニーズを聞き取り、必要に応じて対応していく。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。		7		・今後積極的に参加していく。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	7		・フィードバック時や個別支援計画の更新の説明の際にお伝えしている。 ・家族支援のご案内を行っている。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	1	6	・個人に対する家族支援を行っている。 ・フィードバックの時や個別支援計画更新の時期に個別にお伝えしている。	・ご家族等の参加できる研修の機会は設定できていないため、ニーズに合わせて適宜機会を設定する。
36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7				
37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7				
38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	7		・ご契約時に確認を行っている。		

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7		<ul style="list-style-type: none"> ・フィードバック時や家族支援で保護者様と面談する機会を設けている。 ・適宜家族支援を実施している。 	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。		7	<ul style="list-style-type: none"> ・兄弟でイベント参加できる機会がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・父母の会等の保護者様の交流機会が設定できていないので、必要に応じて企画していく。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7			
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	7			<ul style="list-style-type: none"> ・月2回程度ブログにて発信している。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7		<ul style="list-style-type: none"> ・個人情報が入った書類を破棄する際はシュレッダーしている。 	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7			
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	2	5		<ul style="list-style-type: none"> ・イベント時に利用している児童以外に、体験という形で参加が可能となっている。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7			
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7		<ul style="list-style-type: none"> ・定期的に避難訓練をしている。 	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	6	1	<ul style="list-style-type: none"> ・年度初めにアセスメントシートで服薬の情報記載を頂いている。 ・契約時に服薬の有無や副作用、対応方法について保護者様に確認している。 	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	4	3	<ul style="list-style-type: none"> ・見学・体験に来られた際に保護者様に聞き取りを行うと共に、調理イベントの際は必ずアンケート調査を行っている。 	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7			
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	7			
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7			
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7			
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	7				